

紙つて

平成元（一九八九）年に無事、大
学入学資格検定（大検）には合格し
ましたが、大学に行く意味を見いだ
せず、受験をすることもなくアルバ
イトばかりする生活が二十二歳ぐら
いまで続きました。肉体労働から接
客業まで約十五種類の職種に就き、
その時の経験から、人はどういう時
にやる気が出て、どういう時にやる
気を失ってしまうのか、そして組織
に対する信頼感の変化などを学ぶこ
とができました。

中でも印象的だったのは、バイト
先での飲み会で会社に対する悪口が
多かったことです。労働環境の不
満、給料の不満など内容はさまざま
でした。とあるバイト先の社長は僕

会社の情報をオープンにすること

お高生
林

のことをとてまかわいがってくれ、
会社の経営について、バイトだった
僕にたくさんのことを教えてくれま
した。その会社の飲み会で、社員た
ちから会社への一方的な不満や悪口
を聞かたび、社長から直接話を聞い
ていた僕は、会社と社員との間でも
っと情報共有ができていれば、こん
なボタンの掛け違いは起きず、社員
と会社で強固な信頼関係が作れるの
でないかと思うようになりました。

エイチームにはいくつかのルール
があります。そのひとつが「会社の
情報をオープンにすること」。事業
の状況、財務の状況、これらを毎週
月曜日にスタッフみんなで集まって
共有しています。このルールを作っ
たのは、こんなアルバイト時代の経
験からです。

（エイチーム社長）